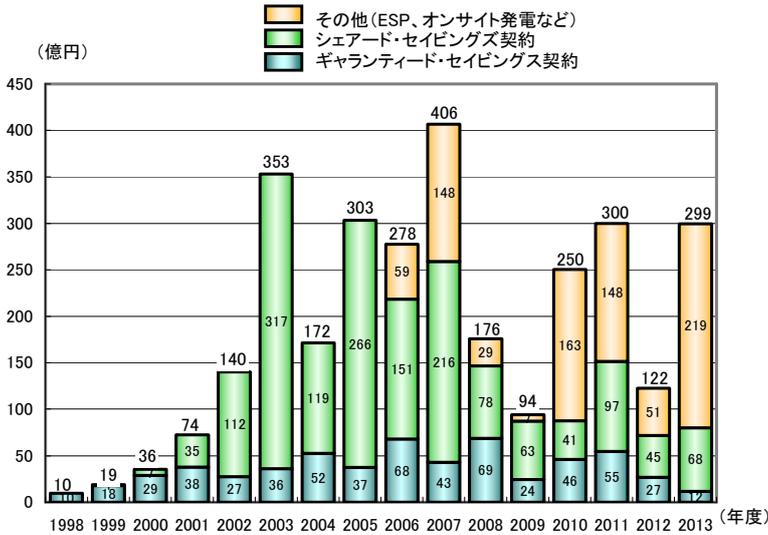


ESCO事業の市場動向（市場規模・対象施設・採用技術）

2015年3月 一般社団法人ESCO推進協議会

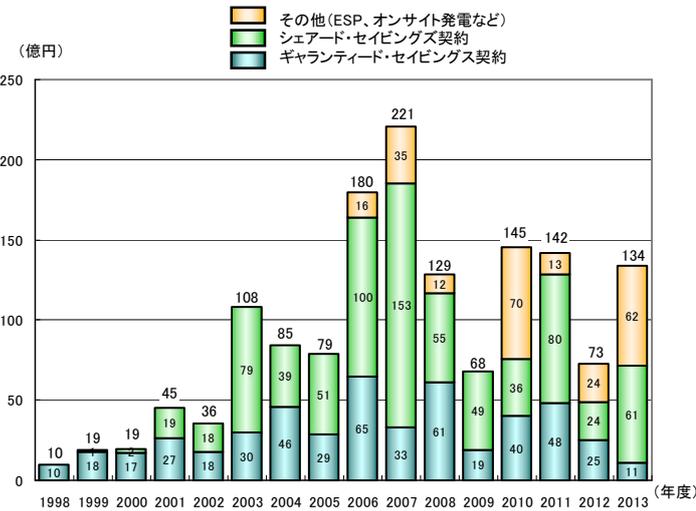
ESCO事業の市場規模の推移



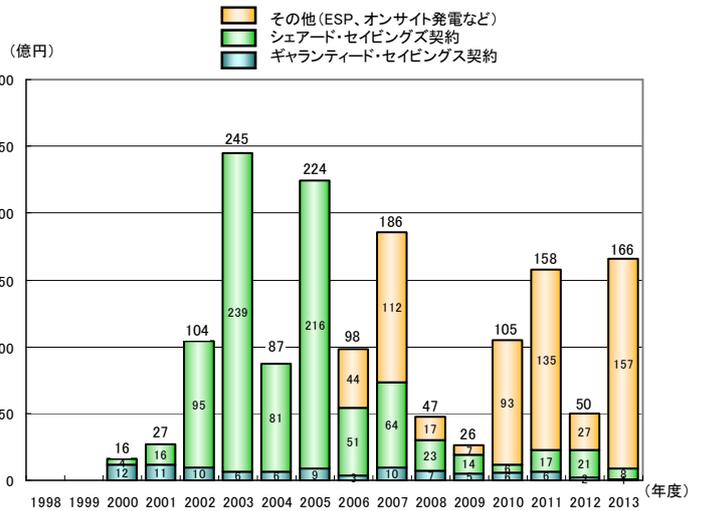
ESCO事業は2008、2009年度は経済の低迷により市場規模は大きく減衰し、2009年度には100億円を割るまでに縮小しましたが、2010年度はESP・オンサイト発電が大きく増加し、2010年度は250億円、2011年度には300億円と回復傾向が見られました。2012年度は一旦減少しましたが、2013年度には「ESP・オンサイト発電、その他」が産業部門で過去最高を記録し、業務部門のシェアード・セイビング契約も前年に比べて大きく増加するなど市場は2011年度規模まで回復しています。

なお、2006年度調査からはESCOのパフォーマンス契約に含まれていた「ESP、オンサイト発電」を別項目として調査集計しています。

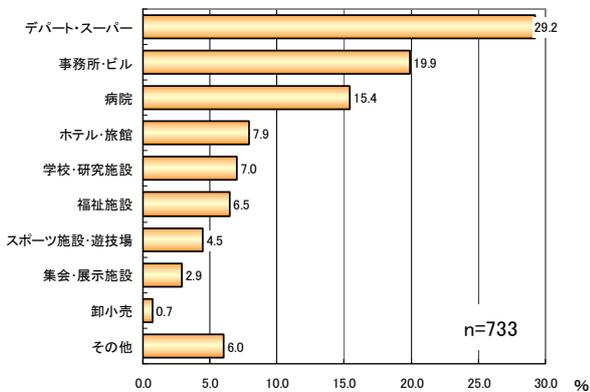
業務用 ESCO事業の契約別受注金額



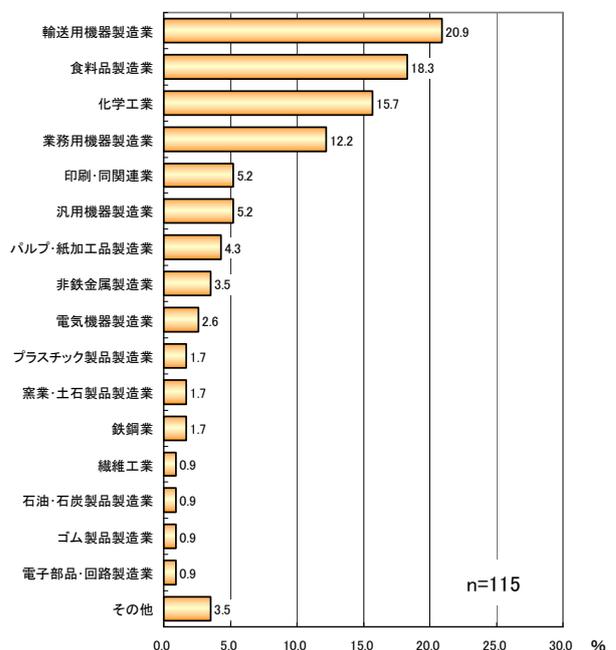
産業用 ESCO事業の契約別受注金額



業務用ESCO事業における対象施設



産業用ESCO事業における対象施設

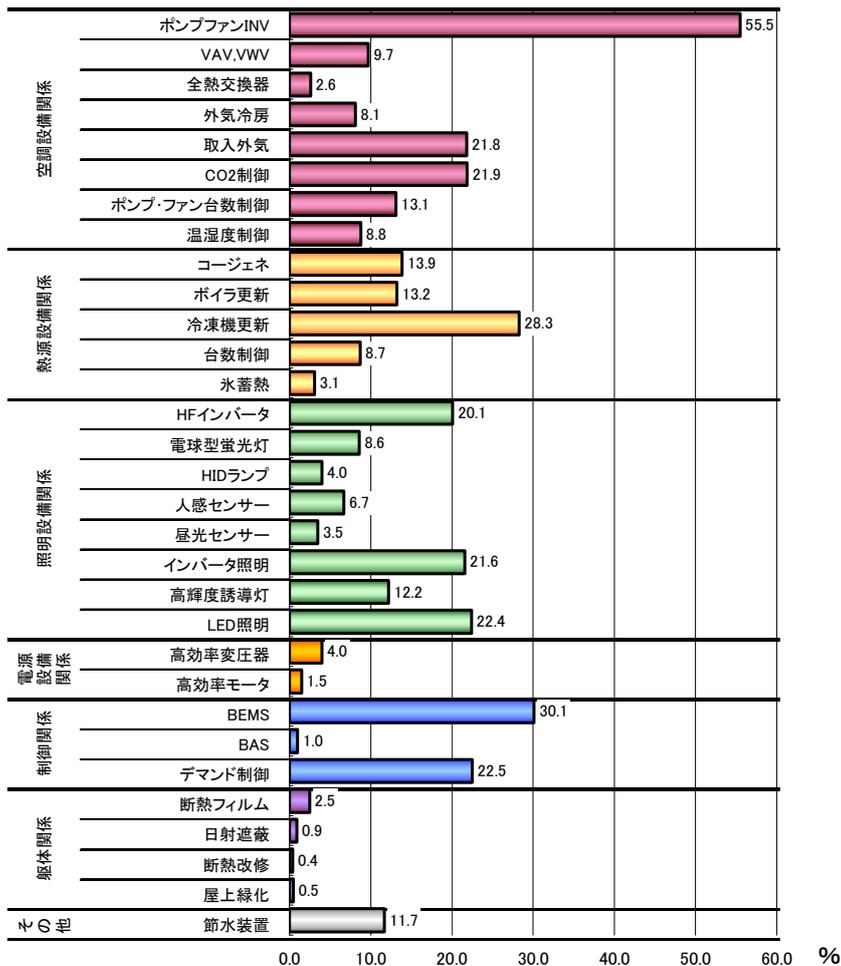


2001～2013年度に調査した13年間のESCO事業において、業務用として最も多かった対象施設はデパート・スーパーなど商業施設でした。産業用では、輸送用機器製造業や食料品製造業、化学工業などで多く導入されています。

ESCO事業で採用されている省エネ技術

(2001年～2013年度の事業を対象に集計)

業務用



産業用

